

The Heavens

天界

(第90巻)

第1009号

(2009年)

天
界
平成二十一年六月十五日 発行

天
界

二
〇
〇
九
年
六
月
号

(毎月一回、十五日発行) 二〇〇九年

六
月
号
(通し一〇〇九号)

東
亜
天
文
学
会



The essentials of imaging

ドームだから、伝えられる感動があります。

世界初のフルカラーデジタルプラネタリウム MEDIAGLOBE

MEDIAGLOBE(メディアグローブ)は、世界で初めてフルカラー投影が可能な小型・高精細のデジタルプラネタリウム。最新のデジタル映像で、天文現象をわかりやすく表現します。さらに、ドーム全天に高画質なCG映像を投映するマルチ投映機能を持ち、さまざまなシーンで活躍します。

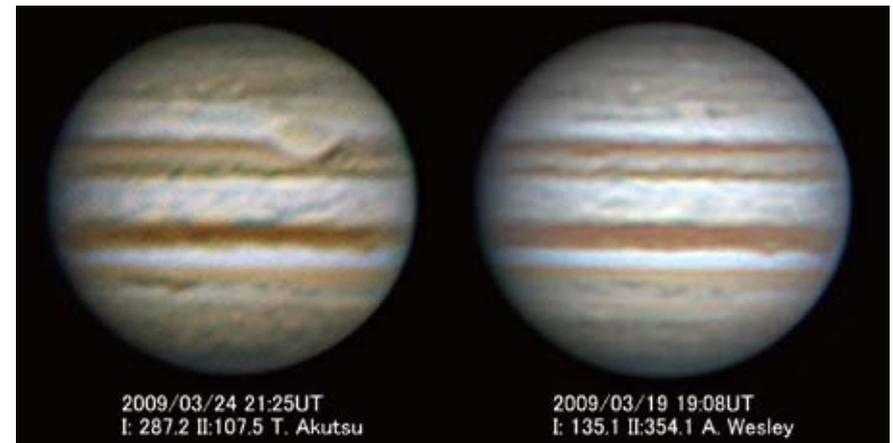


コニカミルタ プラネタリウム株式会社

東京事業所 〒173-0003 東京都板橋区加賀1-6-1 TEL(03)5248-7051
大阪事業所 〒550-0005 大阪府大阪市西区西本町2-3-10西本町インテス11階 TEL(06)6110-0570
東海事業所 〒442-0067 愛知県豊川市金屋西町1-8 TEL(0553)89-3570

平成21年6月15日 印刷 発行 定価 500円 送料80円

発行 東亜天文学会 (編集人 兼 編集者 : 中野 主一)
〒656-0011 兵庫県洲本市炬口1丁目3番19号
☎ 0799-22-3747 Fax 0799-23-1104 e-Mail: office@oaa.gr.jp
印刷所 〒553-0003 大阪市福島区福島6丁目3番6号 倉田印刷株式会社 ☎ 06-6458-6481



今年の木星。左:阿久津富夫氏(比), 右:Wesley Anthony氏(豪)撮影。

兵庫県・洲本市

東亜天文学会

Oriental Astronomical Association
3-19, Takenokuchi 1 Chome, Sumoto, Hyogo-Ken, 656-0011 Japan

2009年 **6** 月

経緯台，究める！

大正15年、1号機の誕生より八十星霜の時空を超えて・・・



西村製作所1号機
京大文学部搬入



- 営業品目
- 天体観測用望遠鏡および観測装置
 - 太陽観測用望遠鏡
 - 観測用ドーム、スライディングルーフ
 - 特殊光学機器

■国立天文台（石垣島天文台）105cm光学赤外線望遠鏡

研究用から公開天文台用まで、望遠鏡・天体観測設備のトータルメーカー

天体望遠鏡と天体ドーム



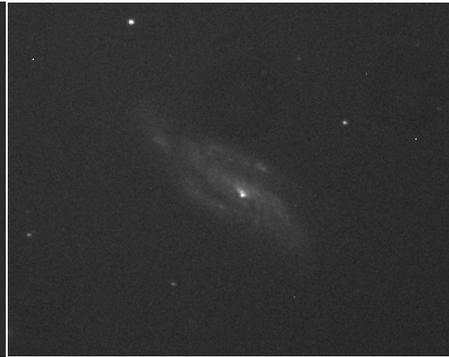
株式会社

西村製作所

〒601-8115 京都市南区上鳥羽尻切町10
TEL. (075) 691-9589 FAX. (075) 672-1338
<http://www.nishimura-opt.co.jp>



2009年4月2日、60-cm 反射にて板垣氏撮影



超新星発見前の画像。4月9日、板垣氏撮影

超新星 SN 2009dd in NGC 4088

久しぶりに明るい超新星 2009dd が発見された。発見日は2009年4月13.97日 UT、発見光度は13.7等であった。この超新星は、4月2.56日 UT に山形の板垣公一氏が同銀河を探索した時には、まだ、出現していなかった（写真左上）。しかし、氏の4月9.58日 UT の探索時には、すでに出現していた。このとき、板垣氏は、その光度を14.5等と報告している（写真右上）。写真左は、仙台市天文台の小石川正弘氏が4月22日に撮影した画像。超新星が赤く写っているのが興味深い。



2009年4月22日、仙台市天文台1.3-m 反射にて、小石川正弘氏撮影（銀河核近くに出現しているのが、超新星 2009dd）。

スーダンに落下した 2008 TC₃ ⇒

本誌 247～251 ページに、東京の大塚勝仁氏の関連記事がある。

表紙写真のデータ

阿久津氏の画像は、今シーズンの大赤斑の状況。昨シーズンは、周囲を暗いアーチで囲まれた赤斑孔 (Red Spot Hollow) となっていたが、復活した。赤みは強くないが、輪郭明瞭である。大赤斑の南から前方にかけて、STB が乱れているのは、STB remnant というかつての STB 暗部の名残。Wesley 氏の画像は、BA の様子。わずかに赤みがあるが、明るい白斑として見られる。前後の STB が濃くなっているが、後方は暗斑状に小さくなってしまった。その後ろに STZ のリング暗斑が茶色の斑点として見られる。今シーズンは、この暗斑と BA の衝突が見られるかも知れない。どちらの画像でも SEB が二条に分離し、明るい SEBZ が発達しているのが、今シーズンの特徴。また、NTB 北組織には、青黒い乱れた暗部が広がっている。関連記事が木・土星課報 (263 ページ以降) にある (課長：堀川邦昭)。

